

The Lions News

DISTRICT 330-A LIONS CLUBS INTERNATIONAL

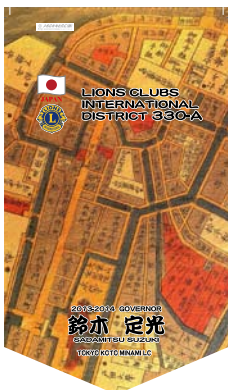
<http://330a.jp/>



2014 New Year



「東京の水源地 小河内ダム」 撮影：L矢田部 満



- 地区ガバナーの年頭のご挨拶 地区ガバナー鈴木定光
- ガバナー一行文部科学大臣を訪問 地区ガバナー一行
- シンガポールOSEALレポート L矢田部 満
- 山浦GMT第5会則地域副リーダーに聞く 広報委員会
- キャビネットだより 地区キャビネット
- 地区内クラブだより 地区内クラブ



年頭のご挨拶

ライオンズクラブ国際協会330-A地区ガバナー
鈴木 定光

新年明けましておめでとうございます。輝かしい2014年の幕開けを迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

昨年も、社会奉仕のオピニオン・リーダーとして、私たちライオンズクラブの果たすべき役割と、奉仕活動に対する幅広い見識を社会全体に広めるという重要な責務に対し、全てのメンバーの皆様方がその一翼を担いながら着実に歩みを進めてこられましたことに心より敬意を表します。

さて、本年度は年次大会が第60回を迎えるという記念すべき節目にあたります。この「第60回記念年次大会」では東日本大震災に対し、今改めて被災地とどう向き合い何をすべきかを再確認すべく、今期の集大成として復興支援事業を行わせて頂きます。2011年3月11日の東日本

大震災より間もなく三年が経過しようとしている中、人々の記憶はだんだんと薄らいでいるように感じられますが、真の復興までには依然として長い道程が残されています。各クラブにおかれましては、それぞれが継続して復興支援活動にご尽力されていることと存じますが、本事業に対しましての深いご理解と、ご協力を賜りますよう切にお願いする次第です。

本年も、330-A地区のライオンズクラブメンバーお一人おひとり誇りと使命感を持たれ、お力を存分に発揮されますことを確信しております。「育もう 拓げよう 奉仕の心」というアクティビティスローガンのもと、志を高くて励ましあいながら共に頑張ってください。

結びに、メンバー各位のご健勝とご多幸を祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

地区ガバナー一行文部科学大臣を訪ねる

2013年10月8日(火)鈴木地区ガバナー、塩月第1副地区ガバナー、池田前地区オリンピック・パラリンピック招致委員長ら地区メンバー一行は、L家喜凱雄(東京杉並東LC所属)第11リジョンリジョンチェアパーソンを案内役として、東京霞が関の文部科学省大臣室を訪れ、文部科学大臣並びに東京オリンピック・パラリンピック担当大臣・教育再生担当大臣でもある衆議院議員下村博文氏と面会した。訪問の目的は、前期地区のオリンピック・パラリンピック招致委員会が中心となり、都内を中心に一般の人に呼びかけ、5万人を超える署名を集め、「多くの東京都民がオリンピック・パラリンピックの招致を望んでいる」ことを証明して招致に貢献してきた報告と、今後も(今期も)ライオンズクラブ330-A地区としてオリンピック・パラリンピック支援活動を続ける意向を伝えるため大臣室を訪れた。

大臣室に通された一行に対し、下村大臣は「ライオンズクラブの皆さんは2020年東京オリンピック・パラリンピック招致の署名活動をなさったと聞いています」と話しかけると、鈴木ガバナーは「招致を望んでいる人がたくさんいることを証明するための署名運動を行い、約5万人もの方々に署名いただきました」「とにかく東京への招致が決まって大変うれしく思っています」と答えると下村大臣も「それはご苦労様でした」とねぎらった。さらに鈴木ガバナーは「我々は奉仕団体として今後もオリンピック・パラリンピック開催にあたり様々な支援を考えている」旨が伝えられると大臣は「ライオンズクラブは国際組織と聞いている、そうした組織力を生かして協力していただければありがたい」と答えた。また、池田前委員長から「オリンピック開催時には多くのボランティアが必要になると聞きました。我々がお手伝いできることがあれば協力したい」と伝えると、大臣は「競

技の開催に関連してのボランティアは別にして、準備活動や環境整備に関してはお手伝いいただくことがあるかも知れません」と応じた。さらにガバナー一行から「環境整備と言えは環境保全に関しては活動を続けており、植樹運動は毎年行っています」と説明すると「そのようなご協力も考えられます」と期待を表明された。その後一行は大臣を囲んで記念撮影を求めると気軽に応じていただいた。撮影を終えて大臣室を後にした。



東洋・東南アジア (OSEAL) フォーラム開催される



52nd OSEAL Forum Convention 2013
SINGAPORE



第52回を迎えた本年度は11月7日より10日までシンガポールで開催された。開会式は11月8日13時30分からマリーナベイ・サンズホテル横のコンベンションセンターにて開催された。このホテルは3本のビルの上に巨大な船を載せたユニークな形をしており今では金融、観光都市として著しい発展を遂げるシンガポールの象徴的な存在だ。開会式では参加各国のガバナーを先頭に国際理事(元も含む)、パーマー会長をはじめとする国際協会の役員などのパレードに引き続き、主賓のDr. Tony Tan Keng Yam シンガポール大統領より祝辞を頂いた。またエキジビジョンではシンガポールの歴史を画面で紹介しながら、民族舞踊や太鼓の演技が披露された。ちなみに今大会の330-A参加者は183名、330複合では約500名と多数で会場を大いに盛り立てた。



当日夕方にはジャパン・ナイトが開催され日本全国のライオンズメンバーが多数集合し、次期国際理事に立候補するライオンの紹介などを行った。当日さらに市内のPeach Garden(桃園)で鈴木定光ガバナー晩餐会も開催され、日本から遠路参加した多数の出席者で会場は熱気に包まれた。

山浦GMT第5会則 地域副リーダーに聞く



広報委員会(以下、広報): まずは現在のお立場、国際協会GMT第5会則地域副リーダーについて教えてください。

山浦元国際理事(以下、山浦): 国際協会のグローバル会員増強チーム第5会則地域とは東洋東南アジア地域のことを指しており、現在元国際会長のウィンクン・タム氏がリーダーを務めており、私が副地区リーダーと言う立場です。

広報: そうしますと、東洋東南アジア地域の副リーダーと言うことでですね。

山浦: その通りですが、東洋東南アジア地域の中でも日本の担当と考えていただいても構いません。なぜなら、日本のメンバーから山田實紘国際第二副会長が誕生し、2年後には山田PIDが国際会長になることがほぼ確定しているわけで、日本のメンバーとしての立場からも日本のメンバー増強に力を注いでいかなければなりません。

広報: どれくらいのメンバー増強を目指しているのでしょうか?

山浦: 現在日本のメンバーが全国(8複合地区)で約10万人いますが、一番多かった時で16万人いました。大げさな言い方ですが、現在の2倍で約20万人を目標にしています。

広報: 日本では、今でも正会員は減少しているのが現実では…

山浦: そうです。1995年以降、日本でも毎年5%の会員が増えています。片方で8%のメンバーが退会やお亡くなりになるなどで毎年3%減少しています。大変厳しい環境だと言えます。

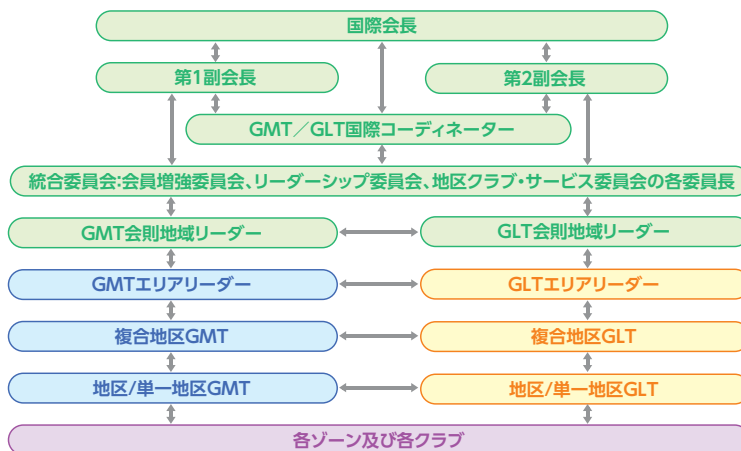


GMT組織図



グローバル会員増強チームは、特定の会則地域または地域に対して奉仕するために任命されたライオンズのリーダーで構成されています。GMTの任期は、地域のニーズの十分な分析および戦略的計画の開発と実施を考慮して3年間としています。GMTのすべてのリーダーは毎年見直しが行なわれ、実績に基づき再任または退任が承認されます。

地区/単一地区は地域の必要性に基づいて活動チームを結成します。



広報：そうした環境下で…現在の2倍とは大変な目標ですね

山浦：パーマー国際会長は、国際会長に就任したハンブルクの国際大会で世界中でメンバーが減少しているが“夢を持ち続けよう”“そして実現させよう”と呼びかけ、再び全世界で140万人のメンバーを目指すとしており、中でも日本はその底力を世界に示す意味でも現在の2倍の会員増強を目指してもらいたいと言って居られます。

広報：どのように会員増強を目指すのでしょうか？

山浦：まずは家族会員の増員を呼びかけたいと思います。家族会員についてはいろいろなご意見があるのを承知していますが、メンバーへの理解が深まり、活動への参加が増えるなど成功例もたくさんあります。メンバー（正会員）の親、子供、配偶者、おじ、おば、いとこ、祖父母など一般的な家族関係にあたる方をぜひお誘いください。また、国際協会はメンバーと同居していなくても同一または隣接する都道府県に居住している家族であれば家族会員として認めることにしました。

広報：会費はどのようになりますか？

山浦：地区会費、複合地区会費などの費用は全国統一で免除とします。したがって会費は国際会費の\$21.50すなわち約2,150円に初年度のみ入会金2,500円です。家族会員は例会に出席することは自由ですが、例会で会食などがある場合はクラブが定める例会費を負担することになりますので例会出席の義務はありません。もちろん活動への



参加はぜひよろしく願います。また、家族会員は地区年次大会に議決権を持って参加する代議員の数（メンバー10人に対し1人）にもメンバーとして数えられます。準地区大会、複合地区大会、国際大会などの代議員数に大きな変化が予想されます。

広報：それで東京新宿クラブなどは大幅に会員増強を達成しているのですか？

山浦：東京新宿クラブのほかにも多くのクラブが協力してくれています。

広報：その他にも賛助会員と言うシステムもありますよね？

山浦：賛助会員は友人、知人、取引先の他、開業医、歯科医、芸術家、伝統職人など外出時間がきわめて制限されている地域の方には是非とも仲間になっていただきたく思います。そうした方々には良いシステムではないでしょうか。また、経済的あるいは健康上の理由から正会員を続けられなくなった方などに回復して復帰できるまで賛助会員として留まっていたりします。会員維持に続きます。

広報：ありがとうございました。仲間が増えることを心から願っています。

山浦：一緒に仲間をお誘いしましょう。クラブは周年行事などは25年おきにするなど考えを変え、人に感動を与える奉仕活動に力を注ぎ、多くの仲間と共に社会奉仕に精進しましょう。どうかよろしく願います。



国際会長賞のメダル

国連ライオンズ・デー



2014年2月15日土曜日にニューヨーク市で開催される第36回国連ライオンズ・デーに、ライオンズクラブ国際協会(LCI)と国連(UN)の69年にわたる歴史的な提携活動を私たちと共に祝いましょう。

このイベントは、二つの組織が共有する目標や相互協力により成し遂げられた数多くの功績、そして国際社会における人道上のニーズを満たすという共通の決意を検討する機会です。

HISTORY

ライオンズクラブ国際協会と国連の関係は、第二次世界大戦終了後から始まりました。

1945年10月24日(国際連合の日として永遠に銘記される)に、カリ

フォルニア州サンフランシスコで、アメリカのハリー・S・トルーマン大統領、イギリスのウィンストン・チャーチル首相及びその他世界の指導者が国連憲章に調印しました。

同年、ライオンズクラブの創設者メルビン・ジョーンズ及びフレッド・W・スミス国際会長(当時)とD・A・スキーン第三副会長(同)は、この新しい国際組織向けの非政府組織(NGO)憲章の作成を図るよう求められました。当時から、ライオンズクラブ国際協会は確立された国際的奉仕組織だったのです。

その後も、国連とライオンズクラブは多くの人道的事業で協力してきています。ライオンズクラブはユニセフ(国連児童基金)、WHO(世界保健機関)、ユネスコ(国連教育科学文化機関)の事業に資金的、人的支援を行っています。

ライオンズクラブ国際協会と国連の関係は、当初から、人道的奉仕活動に限られています。初期の目的に合わせて、ライオンズクラブ国際協会は国連の政治的あるいは安全保障上の問題には関与していません。

キャビネットだより

子供宣言集会 “何があっても” “どんなときでも” 命の尊さを考えよう!

10月27日

献眼・献腎・臓器移植委員会主催、青少年健全育成・レオ・ライオンズクエスト委員会共催

10月27日、日曜日、東京都庁舎・都民広場にて、献眼・献腎・臓器移植委員会主催、青少年健全育成・レオ・ライオンズクエスト委員会共催で、開催された。また、8Rとして、工藤リジョンチェアパーソンはガバナー公式訪問時にこのアクティビティへの協力を宣言し、8Rのライオンズデーとし、ドネーションを実施している。

ライオンズからは、鈴木ガバナーをはじめとするキャビネットの方々、元ガバナーの多数の参加があり、来賓として中山弘子新宿区長、日本臓器移

植ネットワークの坂下氏を迎え、ボーイスカウト東京連盟、ガールスカウト東京連盟、消防少年団、野球少年団、新宿区少年サッカー連盟から多くの子供たちの参加があり、総勢480名となった。

中山新宿区長、鈴木ガバナーからは、命の尊さの話があり、坂下氏からは臓器提供の重要さの話があった。

また、各団体の子供たちから、元気な“子供宣言”と“パフォーマンス”があり、集会が盛り上がった。



江東区在住の被災者を招待

10月5日

第4リジョン合同

2013年10月5日(土)第4リジョン各クラブは合同で江東区内に在住する被災者(福島第一原子力発電所の影響で福島県から避難している方々は区内に約1200名在住するとされる)約200名を同区立の“若洲公園”に招待し、キャンプ場で「バーベキュー」を楽しんだ。その後バスで同区青海(お台場地区)にある「大江戸温泉物語」にも招待して温泉や娯楽施設で過ごした。避難している被災者らは大変喜び、楽しい一日を満喫した。キャンプ場には江東区長や地区ガバナーも駆けつけ、被災者を励ました。



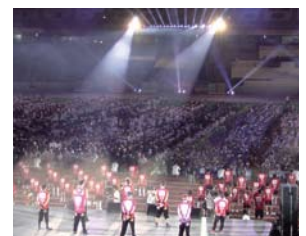
全国障害者スポーツ大会を応援

10月12日

地区ガバナーほか地区委員会



2013年10月12日(土)、調布市の味の素スタジアムに於いて、第13回全国障害者スポーツ大会が開催され、330-Aでも多数の関係者が参加した。開会式では来賓として皇太子殿下ご夫妻が祝辞を述べられた。同大会は3日間にわたって熱戦を繰り広げ14日夕方、閉会式をもって終了となった。特に最終日はイベントとして、EXILE TRIBE によるスペシャルパフォーマンスがあり来場者は、大音響と交錯する色とりどりの光線に酔いしれた。



第1回保護司セミナーを開催

9月25日

東京新都心LC

2013年9月25日(水)330-A地区では初めての保護司についての概要説明会が、四谷スクワール麹町で開催された。当日は、台風20号の影響による雨模様の天気であったが、地区内のメンバー165名が参加して会場は満席となった。地区ガバナーの挨拶の後、地区社会福祉・障がい者支援委員会委員長(L谷山)の挨拶があり、さらに法務省東京保護観察所所長の大矢裕氏から、保護司の目的・制度・資格・活動等について資料とスライドを交えた約1時間20分の概要説明が行われた。また、東京江戸川東ライオンズクラブのL内海憲市より、保護司体験談が披露された。セミナーを主催した同委員会の委員長は「今回の保護司セミナーを今後につなげていき、地域に根ざしたライオンズクラブ活動に、更に保護司というボランティアについても、各クラブで積極的に取り上げ、保護司に挑戦して頂きたい。」と話していた。

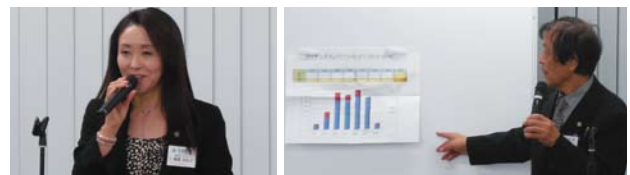


第2回青年アカデミーメンバー交流会を開催

11月22日

地区青年アカデミー委員会

2013年11月22日(金曜日)第2回(通算6回目)青年アカデミーメンバー交流会が東京駅八重洲口近くの会議室にて開催された。交流会には、330-A、B、C、333-C地区のメンバーのほか、公益社団法人助け合いジャパンより2名のゲストを迎えて総勢56名が参加して行われた。地区ガバナーの挨拶に続き、「アクティビティを考える」をテーマとして、東京世田谷LC、東京ピースLC、東京中野LCのメンバーから自クラブのアクティビティの内容説明があり、公益社団法人助け合いジャパンの野田代表より同団体の活動内容のプレゼンテーションがあった。その後グループに分かれてアクティビティに関するワークショップ形式のディスカッションを展開した。前回と同様に新しいアクティビティの模索と合同アクティビティの検討について熱心な議論が交わされていた。第3回は3月3日に錦糸町で、第4回は3月10日に立川で開催される予定。



献血骨髄移植セミナーを開催

10月25日

地区献血骨髄移植委員会

2013年10月25日(金)地区献血骨髄移植委員会では「献血骨髄移植セミナー」をキャビネット事務局近くの「AP西新宿」にて開催した。セミナーには地区内のメンバー約100名が参加した。



青少年健全育成“いじめ防止教室研修会”を開催

12月11日

地区青少年健全育成・レオ・ライオンズクエスト委員

元気に仲良く、いじめのない青少年健全育成教室が12月11日AP西新宿で開催された。青少年健全育成・レオ・ライオンズクエスト委員会(庄子守委員長)主催のこの講習会は同委員会としては初めての試みで、会場には鈴木ガバナー始め



100名を超えるメンバーが参加した。東京都教育庁池田洋一郎主事による、いじめ問題についての詳細な解説の後、同教育委員会監修のビデオの上映があり、どのようにいじめが始まるのか、その時の対応方法などを解説。ライオンズクラブでいじめ問題を取り上げたこのような講習会は大変珍しく、多数の参加者が熱心に耳を傾けているところからすると、この問題に対する世の中の関心の高さを感じさせた一日であった。

キャビネットだより

地区ガバナーが復興支援収穫活動に参加

9月29日

第12リジョン2ゾーン

2013年9月29日(日)第12リジョン2ゾーンの合同アクティビティ参加メンバーは、宮城県大崎市に作付けた「ひとめぼれ」の収穫に332-C地区ガバナー(L林昭兵)と共に参加し、収穫の農作業車(コンバイン)に乗るなどして収穫を体験した。収穫されたお米は来年の年次大会などで開催される予定のバザーで地区メンバーに販売され収益金を被災地に送る予定とのこと。



ディナークルーズ「会員増強のタベ」を開催

11月18日

地区会員増強委員会



2013年11月18日(月)地区会員増強委員会は「会員増強のタベ」中華バイキングを楽しむディナークルーズを開催した。横浜港大さん橋国際客船ターミナルを出発した「ロイヤルウィング号」(2,876トン)船内では「合同入会式」が行われたほか「会員増強地区内ベストメン・メンバー」を招待して表彰式を実施した。



キャビネットが会員増強緊急会議を開催

9月13日

330-A地区キャビネット



330-A地区キャビネットは「会員倍増計画」について2013年9月13日(金)緊急会議を開催した。日本の会員を倍増しようとの山田實紘国際第二副会長よりの要請に対して、緊急会議が開催された。RC, ZC, 地区委員会委員長が緊急に集合し、特に家族会員、賛助会員を増強する方法などについてガバナーから詳細な説明があった。



第2回キャビネット会議開催

11月25日



11月25日AP西新宿にて開催。今回も盛りだくさんの協議事項が審議されたが主なものは

①山田国際第二副会長方針「会員倍増計画」に基づく家族会員の地区会費と補正予算について②年次大会関係③次期第二副地区ガバナー選挙に関する件④年次大会記念事業について、来年4月4,5日に東日本復興イベントを仙台で行う件他、伊豆大島、フィリピン災害に関する緊急義捐金などについて熱心な議論が繰り広げられた。



LCIFセミナーを開催

9月24日

地区LCIF・ライオンズカード推進委員会

2013年9月24日(火)、LCIF・ライオンズカード推進委員会(滝川清人委員長)主催によるセミナーがキャビネット事務局近くのAP西新宿で開催された。セミナーではLCIF資金開発担当田辺憲雄課長より「LCIFの献金と交付金」と題して約一時間にもわたる講義があった。その内容は①LCIFの運営費用は投資による収益で賄われており、メンバーからの寄付金は運営費用に充てられない②英国ファイナンシャルタイムズが公表する世界の奉仕団体の信頼度ランキングで世界一位の評価を受けている③献金額では日本は一位であるが、台湾が二位で最近特に伸びが大きい④交付金の申請方法、ダメな例、認められる例など具体例をもとに説明された。また事例発表では小川晶子(東京ウィルLC)がラオスでの井戸のアクティビティについての体験談を発表した。



国際会長公式訪問

11月25日

バリー・J・パーマー国際会長を迎えた公式訪問式典が2013年11月25日にホテルニューオータニで開催された。山田第二国際副会長はじめ330・331・332・333複合地区の多数の主だったメンバーが、庭園の景観が素晴らしい鳳凰の間で集結。パーマー国際会長は本年度のテーマであるFollow your Dream. 夢を追いかけようについて熱く参加者に語りかけた。特にクラブの会員増強の大切さを強く訴えられ、参加者各人が本年度自分ができる会員増強人数を書いたステッカーを胸に貼り付け、国際会長と握手し特別なバッジをもらうというパフォーマンスには順番を待つ長い行列ができた。本日参加者の合計増加数は4,700名というパーマー会長の発表に会場は笑いに包まれた。



地区内クラブだより

「第16回ドナーファミリーの集い・ランフォービジョン」を支援

10月13日

東京麻布LC



東京麻布LCは東京歯科大学市川総合病院角膜センター・イベントが主催する「第16回ドナーファミリーの集い」並びに「第16回ランフォービジョン」を毎年支援を続けており、今年も例年通り後援した。今年は「集い」を千代田区内幸町のイノホール&イノカンファレンスセンターで2013年10月13日(日)開催された。また、同日の午後には日比谷公園内の健康広場で開会式、桜田門をスタート及びゴールとする「ランフォービジョン」が開催され、同クラブメンバーほか多くのサポーターが参加して実施された。



「酉の市例会」に130人

11月15日

東京浅草LC



2013年11月15日(金)東京浅草ライオンズクラブでは「酉の市例会」と称し、東京浅草の酉の寺「長國寺」酉の市(今年のクラブ会長L井桁鳳雄が住職を務める)〈今年2013年は11月3日(祝)一の酉、11月15日(金)二の酉、11月27日(水)さんの酉〉を参詣し、熊手や杯を受け取るなどしたのち、同クラブの例会会場である「浅草ビューホテル」にて例会を行った。例会には東京日本橋LC、東京隅田川LCも例会出席したほか地区内の有志メンバー並びに330-B地区や333-C地区からも元ガバナーや第1副地区ガバナーなど総勢130名のメンバーや家族らが参加した。

“第17回みんなといっしょの運動会”

10月6日

東京日野LC、東京日野かしの木LC

第14リジョン第1ゾーンに所属する東京日野LC、東京日野かしの木LCはライオンズ奉仕デーのアクティビティとして2013年10月6日(日)八王子市の中央大学体育館に於いて“第17回みんなといっしょの運動会”を日野市社会福祉協議会と共催して実施した。当日は競技参加者のほか、ボランティアやライオンズクラブ関係者ら総勢500名を超える参加規模となり、お昼の休憩時には中央大学の応援団やチャアリーダーの演技も披露され、多くの参加者に喜ばれた。「けが人もなく、最後まで皆さんと楽しく過ごせた」と関係者は喜んでた。



中野駅前前で吹奏楽団と一緒に「ダメ・ゼッタイ」運動

11月17日

東京中野LC



東京中野ライオンズクラブ(会長L高山義章)は2013年11月17日(日)JR中野駅前にて“薬物乱用防止イベント”を実施した。イベントには中野区立第七中学校、堀越学園高等学校の吹奏楽部が吹奏楽を披露し、さながら“駅前コンサート”といった盛り上がりを見せた。さらに今年50周年を迎える同クラブが一般から募集して制作した地元「中野ゆるキャラ」“なっこい”もメンバーが着ぐるみを着て登場し、子どもたちの人気を呼んでいた。同クラブのメンバーは、地元中野駅前が再開発により大企業や有名大学が集結するなど、先進都市空間となりつつある中野駅近辺の環境開発に携っており、同クラブと同クラブメンバーの活躍が期待されている。



JR渋谷駅前で盲導犬育成募金活動を実施

10月6日 第10リジョン合同アクティビティ、東京新都心LC



2013年10月6日(日)都内のJR渋谷駅前(モヤイ像付近)に於いて、ライオンズ奉仕デーの第10リジョン合同の“盲導犬育成募金活動”が行われた。当日はリジョンのメンバー約100名と日本盲導犬協会からは3頭の盲導犬が通行人らに“盲導犬育成の募金”を呼びかけた。募金は全額、財団法人日本盲導犬育成協会に贈られた。



街頭で募金活動を実施

10月6日 第1リジョン合同



2013年10月6日(日)第1リジョン各クラブは合同で数寄屋橋交差点付近の街頭で「日本アイバンク協会」「日本盲導犬協会」と共に募金活動を行い、両協会に渡した。



原宿駅近くで盲導犬育成募金活動

11月16日

東京神宮前LC、東京原宿LC

東京神宮前ライオンズクラブ(会長L遠山浩光)は東京原宿ライオンズクラブと共に、JR原宿駅近くや表参道通り、明治通りなど原宿近辺の街頭計四ヶ所にて“盲導犬育成募金活動”を実施した。募金活動には日本盲導犬協会からも4頭の盲導犬が利用者らと共に活動に参加した。同クラブでは活動後に例会を開き、日本盲導犬協会に当日集まった募金に加えクラブからの寄付金を贈呈した。昨年是一日で三十万円余り集まったという。



地区内クラブだより

少年軟式野球大会を後援

10月6日

東京小金井LC



2013年10月6日(日)小金井市上水公園グラウンドで小金井市少年野球連盟主催、東京小金井LC後援の小金井市少年軟式野球大会が開催された。26チームが参加しトーナメント方式で、4回戦の勝ち抜き戦となっており、グラウンドでは一日中かわいい声援が飛び交っていた。



障害者と乗馬体験

10月19日

東京吉祥寺LC



東京吉祥寺ライオンズクラブは2013年10月19日(土) NPO法人RDAJaoanの協力を得て井之頭公園内で障害者らに乗馬を体験する企画を実施した。同クラブでは昨年、同様に障害者をプールに招待するなどしており、今年は乗馬体験を実施した。来年以降も同様の規格を実施する予定。

“第31回少年柔剣道大会”を実施

9月23日

東京秋葉原LC



東京秋葉原ライオンズクラブは同クラブが30年にわたり地元の少年たちを集めて主催している“少年柔剣道大会”を今年は親クラブである東京柳橋ライオンズの共催を得て開催した。毎年

実施している同大会は今年「第31回八署対抗少年柔剣道大会」として去る2013年9月23日(祝)に東京浜町にある中央区総合スポーツセンターにて開催した。昨年30回という節目を迎えたが「今回は31回という事で初心にかえったつもりで新たに積み上げていきたい」とメンバーは語っていた。参加の子供達の人数も前回同様約200名。毎年、中央区と台東区を所管する八署(中央、上野、下谷、浅草、蔵前、久松、万世橋、築地)もの警察署長や関係者が集まり熱気にあふれる同大会だが、しっかりと地元の青少年らに知れ渡った同大会に対し、今後も毎年継続して開催が期待されている。



剣道結果		柔道結果	
対戦相手	結果	対戦相手	結果
中央	3	中央	1
上野	2	上野	2
下谷	5	下谷	1
浅草	2	浅草	2
蔵前	6	蔵前	1
久松	2	久松	2
万世橋	1	万世橋	1
築地	7	築地	1
合計	21	合計	17
合計	0	合計	0

毎年、地元の小学生を招待して稲刈り

10月9日

東京秋川LC



2013年10月9日(水)東京秋川ライオンズクラブ(L神田保会長)は地元の五日市小5年生を招待して恒例の稲刈りを実施した。当日は秋晴れに恵まれ、5年生の児童・職員102名と共にライオンズクラブからは第2副地区ガバナー(L近藤正彦)が参加した。稲を刈る児童・稲を束ねる児童らが別々に、ライオンズクラブメンバーの指導に基づき、郊外での体験に楽しそうに参加していた。稲刈りは1時間程で終了したが「今年は雀に大分食べられたが、150キロぐらいは収穫できそう」と関係者は話していた。収穫したお米は12月に予定している餅つき大会でも子供たちを招待して餅つきを体験し配られる予定。

子供たちをキッズニアに

12月14日

東京調布LC



12月14日(土)、東京調布LCは都内の恵まれない子供達12名を、キッズニア東京に招待し一日を楽しんでもらった。お子さん、お孫さんをお持ちの方などのような所かすぐお分かりと思うが、ここは子供たちが遊びながら職業体験できる体験学習遊園地。どの子どもに聞いても、もう一度行きたいと答えるあこがれの場所である。したがって予約が難しいのが難点であるが、調布LCには、幸運にもこの関係者がメンバーで、いつでも予約可能になっている。この日も学校の授業のない土曜日に子供たちを招待できることになった。

同クラブではこのアクティビティを希望するクラブを募集中である。問い合わせ先は東京調布LC矢田部まで(電話090-8082-1797)



親子ふれあい祭り

11月24日

東京さぎそうLC



東京さぎそうLC後援による身体障害を持つ子供を対象にしたイベントが、25年11月24日(土)に都立久我山青光学園(世田谷区烏山)で行われた。同クラブ手作りのおでんや焼きそばなどやくじ引き、餅つきなどのイベントがあり参加した子供たちは大喜び。参加者約200名、同クラブではこのイベントを15年以上にわたって継続している。



地区まつりで献血運動

10月13日

東京光が丘LC



東京光が丘ライオンズクラブは子クラブの東京すずしろライオンズクラブと共に2013年10月13日(日)練馬区の「光が丘地区まつり」で献血を呼びかける運動や“バナナのたたき売り”、やばザーなどを実施して、東日本大震災の募金を募るなどの活動を実施した。



フィリピン台風被害の募金活動を実施

11月16日、11月17日

東京墨東LC

東京墨東LCは2013年11月16日(土)、17日(日)の両日、墨田区内のJR錦糸町駅前にて「フィリピン台風被害支援募金活動」を実施し、二日間で集まった募金155,226円に加えクラブからの支援金44,774円を加えた200,000円をフィリピンマニラの301-A1地区の地区ガバナー宛に送金した。



地区内クラブだより

「八王子いちよう祭り」で薬物乱用防止を

11月16日、11月17日

東京八王子陵東LC

東京八王子陵東LCは2013年11月16日(土)、17日(日)八王子市内で行われた「八王子いちよう祭り」において同市内の多摩御陵参道(歩行者天国を実施)でテントを設け、「薬物乱用防止」を呼びかける活動を実施した。



宮城県石巻で移動支援を続ける団体を支援

12月6日、12月7日

東京江東南LC



地区ガバナーが所属する東京江東南LCでは、宮城県石巻市で被災者らを支援する「NPO法人移動支援Rera」を支援している。2013年12月6日(金)～7日(土)同クラブのメンバーが同氏を訪れ、支援金を手渡した。「移動支援Rera」では東日本大震災の被害を受けた石巻地区内で生活する人々を病院へ送り迎えするなどの活動を行っている。代表の村島弘子氏は北海道の別の団体に活動していたが住所を石巻に移動し活動を続けているという。他のスタッフ(代表を含め8名)の中には仮設住宅で暮らしている人も。現地を訪ねた同クラブメンバーは石巻LCのメンバーと共に石巻の仮設住宅をはじめ宮城県内、岩手県内の被災地を回り、復興の現状を確認し、さらなる支援を呼びかけたいと伝えてきた。



中央区月島で“薬物乱用防止教室”を実施

9月14日

東京晴海LC



東京晴海LCは2013年9月14日(土)昨年に続き、中央区の月島第二小学校にて小学6年生の生徒60名と父兄20名を対象に「薬物乱用防止教室」を実施した。



靖国神社を清掃

11月2日

東京法政LC



東京法政LCは2013年11月2日(土)千代田区の靖国神社の清掃活動を昨年に続き実施した。



東京麻布LC50周年

10月17日

東京麻布LC



2013年10月17日(木)ホテルオークラに於いて東京麻布ライオンズクラブCN50周年記念式典がとり行われた。式典では、記念アクティビティが発表され、港区長ほか地区内外から多くのメンバーが祝いに駆けつけた。

東京世田谷LC50周年

9月28日

東京世田谷LC



約470名の招待客を集めた東京世田谷ライオンズクラブ(西山和範会長)50周年記念式典が、目黒雅叙園で盛大に開催された。鈴木ガバナー始め多数の来賓の挨拶に続き、13もの盛りだくさんのアクティビティが紹介され、同クラブの活発な活動に賞賛の声が多数あがった。

東京目黒LC50周年

10月16日

東京目黒LC



2013年10月16日(水)東京目黒ライオンズクラブは結成50周年を記念する例会を例会場の目黒雅叙園にて開催した。

東京六本木LC40周年記念式典

9月19日

東京六本木LC



東京六本木ライオンズクラブは2013年9月19日(木)都内のグランドハイアット東京コリアンダーに於いて地区ガバナー、元国際理事らを招いてチャーターナイト40周年記念式典を行った。

東京21世紀LC10周年

12月2日

東京21世紀LC

12月2日(月)、10周年記念式典が銀座ケントスにて開催された。鈴木ガバナー、山浦元国際理事など来賓の挨拶に引き続き、井出仁会長がこの会場を選んだ理由などをユーモアを交えて披露して式典が開始された。演奏会用の会場を使っただけの周年行事ということで祝宴ではバンドと歌によるオールデーズの曲や昔懐かしいゴーゴードダンスなどの余興もあり、大変盛り上がった夕べとなった。



2014 主要行事日程表

キャビネット会議

●臨時第1回	2014年1月20日(月)	15:00-16:30 / 賀詞交歓会17:00-19:00	東京プリンスホテル ※元ガバナー・キャビネット構成員・委員会副委員長・委員・SPA・複合地区役員
●第3回	2014年3月17日(月)	会議14:00-17:00	AP西新宿 ※キャビネット構成員
●第4回	2014年6月9日(月)	会議未定 / 懇親会未定	東京プリンスホテル ※元ガバナー・キャビネット構成員・委員会副委員長・委員・SPA・複合地区役員

OSEALフォーラム

●第53回東洋・東南アジア・ライオンズ(OSEAL)フォーラム	2014年11月13日~16日	韓国、仁川(インチョン)
---------------------------------	-----------------	--------------

国際大会

●第97回国際大会	2014年7月4日~8日	カナダ、オンタリオ州トロント
●第98回国際大会	2015年6月26日~30日	米国、ハワイ州ホノルル
●第99回国際大会	2016年6月24日~28日	日本、福岡県福岡市
●第100回国際大会(国際協会創立100周年記念大会)	2017年6月30日~7月4日	米国、イリノイ州シカゴ
●第101回国際大会	2018年6月29日~7月3日	米国、ネバダ州ラスベガス

年次大会

●A 地区(第60回)	2014年4月20日(日)	東京プリンスホテル
●B 地区(第60回)	2014年4月19日(土)	航空高校(山梨県) 代議員会4月12日(土)
●C 地区(第60回)	2014年4月6日(日)	大宮 ソニックシティ
●330複合地区(第60回)	2014年5月11日(日)	ロイヤルパークホテル横浜

その他

●東日本復興支援フォーラム 「未来へ繋ぐ明日への希望“支”え」	2014年4月4日(金)・5日(土)	宮城県名取市仙台市情報・産業プラザ多目的ホール
------------------------------------	--------------------	-------------------------

ライオンズクラブ国際協会330-A地区 第60回年次大会 2014年4月20日(日)

於：東京プリンスホテル

大会テーマ「縁」

かけがえのない「いのち」のつながりを感じて
ACTION FOR THE FUTURE

代議員総会 / 大会式典 /
被災地復興支援イベント /
アワード表彰 / 祝宴

大会式典第二部では
衆議院議員 小泉進次郎氏
(内閣府大臣政務官・復興大臣政務官)の
記念講演が予定されています



大会会長 地区ガバナー 鈴木 定光

今期、私たち330-A地区は「ACTION For The Future」をスローガンに掲げ、ライオンズクラブメンバーが「今」と言うこの瞬間を大切に生きること、「今」を大事にしてこれから先に結び付けていって頂きたいという願いのもとに活動してまいりました。各クラブ・ゾーン・リジョンにおかれましても、その理念に対しますご尽力に心より敬意を表しますとともに、いずれのご活躍も高く評価されるものと確信しております。

大会委員長 GMT家族会員開発エリア・リーダー(東日本) 元ガバナー 石井 征二

今回の大会テーマを「縁」とさせていただきます。私たちが人生の中で巡り合う不思議な「縁」。一言で言うと「縁」とは「つながり」を表す言葉です。目に見える「縁」。目に見えない「縁」、多くの人々と出会い、生かす生かされともに影響を受けながら様々なことを学び成長して来ました。私たちライオンズがここに集い、かけがえのない仲間となれたのも「縁」によるものです。この「縁」でつながった私たちが手に手を取って大きな輪を作り奉仕活動を行いながら、メンバーの皆様とその家族、そして社会全体がさらなる幸せの構築を実現できることを祈念しております。

ライオンズクラブ国際協会330-A地区
地区ニュース 第2号(New Year号)

The
Lions
News

発行日 2014年1月20日
発行 広報委員会

広報委員会

委員長 矢田部 満(調 布)
編集長 柴田 誠(新都心)
編集委員 村木 秀之(数寄屋橋)
後藤 裕文(法 政)
山口 聖之(中央南)
上杉 秀樹(豊 新)
津守 勝男(大 森)

中吉 淳喜(羽 田)
矢追 秀紀(ウエスト)
桂 太郎(世田谷)
秋保 朋芳(小金井)
高橋 美作(羽 村)
担当副幹事 進藤 義夫(世田谷)

ライオンズクラブ国際協会
330-A地区キャビネット事務局
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-10-17
新宿ダイカンプラザB館2F
TEL(03)5330-3330
FAX(03)5330-3370
E-mail cab@lions330-a.org